

柳 絃亭、
唐琴

一の宮
あひなほ

もち
のち

塩竈
しんそう

塩竈市
NPOみなとしほがま
総会記念講演

柳 群林
千條

むね
のり
客入
め

遊女の塩竈



文政二(1819)年、燕石斎薄墨が、福島南部から松島までの道すがらを書き綴った滑稽本「三三時雨 歌の陸奥」に記された、塩竈の遊女の姿などを中心にご紹介します。

※燕石斎薄墨(えんせきさい うすずみ) 水戸の出身。国分町殿元伊勢半の食客で、多くの佳作物を残した戯作(ワケモノ)文学者

とき 11月29日(土) 14:30～16:30

ところ リンゲート塩釜3階 リンボール

費用 500円(資料代)

講師 高橋章則 氏 東北大学大学院文学研究科教授



講師 高橋章則

博士(社会学) 東北大学大学院文学研究科教授

東北大学文学部卒業、東北大学大学院文学部研究科修了。一橋大学で博士号(社会学)を取得。専攻は、江戸時代の出版文化、文化交流史。

著書に『江戸の転勤族―代官所手代の世界―』(平凡社)、『狂歌陸奥百歌撰』(東北文化研究資料館第5集、東北大学)などがある。

主催 / 特定非営利活動法人 NPO みなとしほがま
後援 / 塩竈市 塩竈市教育委員会

●お問い合わせ 特定非営利活動法人 NPO みなとしほがま (旧壺井邸) Tel022-364-0686